

「市民科学」プロジェクト2024年度シンポジウム
郷土に向かい合う人々
—信州・諏訪の市民科学—
概要説明

大西拓一郎
(国立国語研究所)

「市民科学」プロジェクト

- 市民科学＝大学や研究機関に属さない研究者による研究実践
- 市民科学に光をあてることで、研究のありかたを考え直す。
- 信州・諏訪
長く市民科学が実践されてきた地域
- 天文、地理、方言、民俗、考古など自然科学・人文学の多岐にわたる。

これまでのシンポジウム

- 2022年度：2022年11月18日 すわっちゃオ
「**長野県は宇宙県**」の天文史100年と市民科学
→信州・諏訪における市民科学による天文学の実践
 - 2023年度：2024年1月20日 すわっちゃオ
諏訪の地理、信州の地理と市民科学
→地理的観点から信州・諏訪を掘り下げ、市民科学に触れる。
おもに**対象地域＝信州・諏訪に焦点**
-

本日のシンポジウム

- **郷土に向かい合う人々ー信州・諏訪の市民科学ー**
→方言、地理、民俗において研究を実践してきた**人に焦点**
- **プログラム**
司会 岸江信介（奈良大学）
13：30-14：15「牛山初男氏の方言学と市民科学の実践」大西拓一郎（国立国語研究所）
14：15-15：00「長野県民俗の会の発足と現在」安室知（神奈川大学）
休憩
司会 渡辺真由子（茅野市八ヶ岳総合博物館）
15：15-16：00「諏訪と信州の地学ー背景・研究・教育」小口高（東京大学）
16：00-16：45「三澤勝衛先生の教えとその継承」北澤潔（長野県上田高等学校前校長）
休憩
司会 渡辺真由子（茅野市八ヶ岳総合博物館）
17：00-17：45 総合討論